

天然物の力を利用する：抗炎症剤開発のリード化合物としての アンドログラフォリドの理解に向けて



目で見る
海外講師講演会

小比賀 聡*

Harnessing the power of natural products: towards understanding andrographolide as lead compound in the development of anti-inflammatory agents

Key Words : Natural products, Andrographolide, Anti-inflammatory agents

<開催場所> 大阪大学薬学研究科 沢井ホール

<開催時期> 令和7年5月8日

<講師> シンガポール国立大学 薬学部

Christina Chai 教授

令和7年5月8日に、シンガポール国立大学のChristina Chai教授の特別講演会を大阪大学薬学研究科にて開催した。

天然物は、これまで創薬や医薬品開発におけるリード化合物の貴重な供給源として認識されてきたが、その作用の根底にある生物学的メカニズムについてはまだ多くが解明されていない。天然物の作用メカニズムをより深く理解することは、その構造最適化や天然物を起源とした治療薬開発において極めて重要である。

Chai教授の講演では、ハーブの一種として知られるセンシンレン (*Andrographis Paniculata*) の主要な生理活性化合物であるアンドログラフォリドに焦点が当てられ、その構造と活性の相関や治療薬開発を進めるための構造最適化、さらにはこれら天然化合物が生物学的活性を示すメカニズムなどが、最新の研究成果をもとにわかりやすく説明された。天然物は創薬開発の宝庫であり、低分子治療薬の設計と開

発に活用できる貴重な知見を提供する計り知れない可能性を有していることを改めて実感することができた。講演後には活発な質疑応答が繰り広げられ、1時間半の講演時間はあっという間に過ぎ去った。最後になりましたが、本特別講演会の開催にあたり、生産技術振興協会の海外講師講演会奨励事業から多大なご支援をいただきました。ここに厚く御礼申し上げます。



講演の様子



講演後の集合写真



Christina CHAI

1964年9月生まれ

シンガポール国立大学 薬学部

教授 博士

専門/薬学、天然物化学

E-mail : christina.chai@nus.edu.sg

*講演会主催者 大阪大学大学院薬学研究科 教授